

# 新しい道政の実現!



全日本自治団体労働組合  
北海道本部  
〒060-0806 札幌市北区  
北6西7北海道自治労会館  
電話 011-747-3211  
FAX 011-700-2053  
編集・発行 渡部 裕幸

## 佐藤のりゆき知事候補が第一声 豊かな北海道をつくらう

新しい道政の実現にむけて、12年間の流れを変え、新しい北海道をつくるために北海道知事選挙が3月26日告示された。北海道庁東門前で、春らしい太陽の光をあびて自治労北海道本部が推せんする「佐藤のりゆき」さんの第一声が行われた。

応援に駆けつけた評論家・小沢遼子さんは、「佐藤のりゆきさんは、新しい北海道を拓く。北海道は外から見れば夢の地だ。人口は減る、生活保護は増える、産業もうま

らしいことだ。夢を抱える佐藤のりゆき候補を応援しよう」と激励した。佐藤のりゆき候補は、「今の北海道には希望がない。みんなが夢と希望を持ち、わくわくして暮らせる北海道としていく。12年間北海道に企画がなかった。頑張る人たち、豊かな資源、広大な大地、これを活かす企画、実行力がなかった。このまま4年もいくと北海道は沈没してしまう。それを止めるため立候補を決断した」と述べた。北海道に企画、実行力を持ちみなさんと一緒に、北海道を前に動かす。第一次産業を豊かにし、利益を生むためには、179市町村に研究所、会社、工場をつくり、20代、30代の人が働く場所をつくる。人口減少は13年前から始まっていたが対策はしていなかった。若い人たちに働いてもらい、一次産業が利益を上げ、一次

自民・公明与党は、3月20日に「安全保障の法整備に関する与党協議会」で「安全保障法制整備の具体的な方向性について」を基本的に合意した。全文から見るとは、「武力の行使をもってしないと国民の命と平和な暮らしは守れない」との誤った認識だ。日本は戦後、武力行使を行わず平和国家の道を歩んできた。戦後70年を経過しても、日本国憲法の平和と民主主義の理念は輝きを失っていない。安倍政権の安全保障法制に反対し、平和構築へ声をあげよう。

### 朝風

いとの誤った認識だ。日本は戦後、武力行使を行わず平和国家の道を歩んできた。戦後70年を経過しても、日本国憲法の平和と民主主義の理念は輝きを失っていない。安倍政権の安全保障法制に反対し、平和構築へ声をあげよう。



産業、観光産業が豊かになり、中小企業が利益を得る。結果、福祉、医療が行きわたり、豊かになる。豊かな北海道にし、安心安全に暮らせるように変えていく」と強調した。北海道には原発はいらない。『脱原発』のロードマップをつくる。福島のようになれば、一次産業、観光産業が壊滅し命が危うい。子ども、孫たちのために北海道の将来を考えて投票を呼びかけよう。自主自立をし、夢と希望を持って、わくわくする豊かな新しい北海道をつくらう」と力強く訴えた。道本部は、地方分権・地方自治確立にむけ、知事選を頂点とした統一自治体選挙闘争の取り組みを進めてきた。佐藤知事誕生で新しい豊かな北海道をつくり、自治労組織内と推選候補全員の必勝をめざし全組合員が総決起しよう。

## 第18回統一自治体選挙闘争 勝利に全力を!

檄

北海道知事選挙を頂点とする第18回統一自治体選挙が本日スタートした。12年にわたる現職知事の道政運営は、地域に根ざした政策を行わず、自らリーダーシップを発揮せず「国に従属した道政」であった。その結果、道民の生活は、国民の平均所得を下回る状況が続き、また、道財政の悪化、地域医療・介護サービスの低下、TPP交渉への参加強行、地方間の格差などが北海道を疲弊させてきた。今回の選挙は、現職の4選を阻止し、この12年間続けてきた国依存、国頼りの道政から、道民が主役の道政を取り戻すための重要なたたかいである。

昨年12月の解散総選挙の結果から、政府与党は、戦争のできる国づくりにむけて、憲法改正を視野に新たな安全保障法制や、労働者保護ルールの改悪など、国家主義・新自由主義的な政策を一段と推し進めようとしている。この様な安倍・自公巨大与党に対抗し、政権運営をフリーハンドにさせないための第一歩が、今回の第18回統一自治体選挙のたたかいである。私たちがめざす平和な社会を実現し、地方自治を守るためにも、民主党を中心とした地方からたたかいを構築し、道本部・地方本部・単組・総支部、そして組合員が一丸となった取り組みが重要となってくる。

本日告示の道知事選挙を皮切りに行われる道議・札幌市長・札幌市議選挙の前半戦をしっかりとたたかい、後半戦の市町村長・市町村議選挙につなげなければならない。非常に限られた時間の中ではあるが、家族・親戚・知人・友人はもとより、職場・地域での支持拡大の一声が、大きな支持の輪をつくり、政治を動かすことに必ずつながっていく。

自治労組織内をはじめ、推せんする全ての候補者の勝利をめざし、最後まで粘り強くたたかいたい。抜こう。

2015年3月26日

自治労北海道本部  
執行委員長 山上 潔

## 戦争をさせない 北海道委員会

「戦争をさせない」  
全国署名実施中!

◇目標 組合員×5筆

◇取り組み期限

2015年4月8日(水)まで

### JICHIRO スケジュール

4月
3日(金) 北海道議会議員・札幌市議会議員選挙告示日
12日(日) 知事・道議・札幌市長・市議投開票日
14日(火) 第14回執行委員会(札幌市)
19日(日) 各市長・市議会議員選挙告示日
21日(火) 各町村長・町村議会議員選挙告示日
23日(木) 連合北海道第2回「憲法と平和」学習会(札幌市)
26日(日) 市町村長・市町村議会議員投開票日

### 道本部ホームページ

自治労北海道  ユーザー名: minnade  
組合員専用ページは  パスワード: danketsu2013



# 札幌・北海道を再生しよう

3月20日、中央区「秋元克広総決起集会」を自治労会館で開き、200人が参加した。

はじめに、段坂・中央区民主党代表が、「民主党推薦小林、藤川道議候補予定者、長谷川、村上札幌市議候補予定者4人と、秋元克広市長候補予定者を当選させて、札幌と北海道再生のために我々力を尽くす。協力を願う」とあいさつした。続いて、横路衆議院議員が、「今回の知事選、市長選で自民党とたたかうのは北海道と大分だけだ。結果がどうなるかが政局に影響を与える大事な選挙になる。多くの人に投票に行ってもらい、北海道で勝利に結びつけることが、安倍政権に歯止めをかけることとなる。皆さんにお願いする」と呼びかけた。続いて、札幌市中央区立候補予定者の小林郁子、藤川まさし(組織内)道議候補予定者と、長谷川衛、村上ゆうこ候補予定者



左から小林郁子、藤川まさし、秋元克広、長谷川衛、村上ゆうこ候補予定者

その後、秋元克広(道本部推せん)札幌市長候補予定者は、「半年間、多くの住民と対話をした。上田市政の根幹としてきた、人を大事にし、やさしい街づくりを、市民のみなさんとともに創るまちづくりが大きな柱だ。魅力的な街にして次の世代の子どもたちにつなげていく。子どもたち、障がい者や、高齢者が安心して暮らせる札幌にする。負けられないたたかいた。上田市政が12年間進めてきたことを今後も継続して次世代につなげる。札幌と北海道全体と連携し、地域を良くして

いかなければならない。ご支援をお願いする」と決意を述べた。  
最後に、上田札幌市長が、「秋元さんは政令市以降のいいところ、だめなところ知り尽くし35年間仕事をしてきた。市民が主役の街、文化と誇りあふれる街づくりをしよう」と12年間取り組んできた。少子、高齢社会の中札幌市の歴史、現状、将来を見つめて具体的な政策を提言できるのは秋元さんしかいない。勝たせてください」と呼びかけた。最後に、上田市長の団結カンパニーで集会を終了した。

## TPP反対に立ちあがる



全道緊急集会に1500人が参加した=札幌市

3月22日に、J.A北海道中央会、道医師会、消費者団体などをつくる実行委員会の主催で「TPPから命と暮らしを守る!北海道緊急大集会」が札幌市民ホールで開かれ、全道の農家などから約1500人が参加した。基調講演では、孫崎亨外交評論家が「格差を生むTPPの正体」と題し、講演した。孫崎さんは、投資先の国の政策変更で

## あいくみの国会だより



国民の心理が解らなくなっている。竹信美枝子(和光大学教授)さ。昨今です。原発推進政策、集団的自衛権発動には圧倒的に多くの国民が反対をしています。また、「アベノミクス」で自分たちの生活が良くなると誘導される可能性がある「まさに、今の安倍政権がその道をたどっているか」という問いかけには、恩恵はない、実感がなくという声が圧倒的に多いにもかかわらず、内閣は高支持率を保っている。なぜだろうと考えるもその答えは見つかりませ

## 労働組合政治活動は重要



職場だより

【上川地本発】下川町職労青年婦人部は、統一自治体選挙政治学習会を3月23日(月)に開き、14名が参加した。  
和田青年部長が「組合活動で政治活動は大変重要。これから行われる統一自治体選挙にむけた基礎的な事項を理解し、活動につなげよう」とあい

おり、告示後に一部制限はあるが、告示前にできる活動は多くある。教宣紙に選挙関係載せる場合、定期的に発行していることが条件の一つだが、告示後は教宣紙の取扱いが難しい」と提起した。  
今回の統一選が初めてという部員も多く、政治



政治活動を学んだ=3月23日

## シリーズ「社会保障制度改革の行方」⑬

### 保育の質・職員の処遇改善に全力



保育職員の現状は、臨時・非常勤の保育士が半数以上を占め、正規職員と同じ職務をしている状態にあり、処遇に明らかな差別が存在します。また、保育士の頑張りを頼りに保育の質を確保してきましたが、劣悪な労働環境や利用者の変化による限界を超え、保育士の離職増加や確保困難が課題となりました。  
4月から「子ども・子育て支援新制度」が本格実施されます。制度は保育の量的拡充と質の改善を両輪としてきました

が、給与改善や配置基準の見直しなど、質の改善に必要な予算は、消費税以外の0.3兆円が不透明な状況です。  
自治労は、公立保育所の責務と役割を明確化し、保育士の社会的評価の確立と処遇改善の取り組みを進めてきました。正規職員に限らず、臨時・非常勤職員や民間施設職員も対象です。  
各単組は、臨時・非常勤職員の組織化を進め、保育にかかわる全ての職員の処遇改善、保育の質の改善をめざしましょう。

## 忙中余話

この教宣紙がみなさんの暮らしに届く頃には、私の故郷である別海町あたりを走行中。北海道知事候補ともなっている。北海道の「命と暮らしを守る」ために北海道のリーダーとして、TPPから命と暮らしを守ることを大胆に地域集会に参加した。支持する政党はバラバラなのに各主催団体あいさつは共通点が多数。未だに農業者の問題という感がある。自身の総決起集会のため欠席した現職知事のメッセージ代読は農政部長だったことに違